

開講学科	建築学科	実務家科目				前橋工科大学 シラバス			
		—							
科目名	建築設計 IV	標準対象年次	選択/必修		科目コード				
		3年次	必修		14100801				
担当教員	石川 恒夫、石黒 由紀、内海 彩 (全回、全教員出席のもと指導)	単位数	学 期	曜 日	時 限				
		2単位	後期	月曜日	4, 5 時限				
授業の教育目的・目標	地域に根ざした建築のあり方を探るとともに、時代を超えた普遍的なデザインを目標とする。環境、文化、社会、産業との関わりから建築を位置づけるため技術、意匠(空間構成や表層)、構造、設備の知識を身につけ設計演習を通して総合的に表現する能力の向上を図る。								
学科の学修・教育目標との関係	建築設計者・技術者として記述能力、描画能力、ものを作る能力を通して、自分の考えを表現することができる。								
キーワード	建築意匠および技術、文化など総合的な知識、境界、距離、空間構成、環境								
授業の概要	主に前橋市街地を計画地に選定し、計画に先立ち都市周辺のリサーチやデザインサーヴェイを行うと共に街を活性化するための建築的提案を行う。計画地周辺地域の環境を読み、建築の輻輳する機能を把握するとともにインテリアや外部環境を含めた設計とする。特にデザインプロセスをスケッチやモデリングを通して自己の設計内容を論理的に組み立て、第三者に正しく伝えるプレゼンテーション能力を修得する。課題数は中規模なものを2～3課題程度とする。								
授業の計画	第1回：	ガイダンス、プレ課題の説明							
	第2回：	エスキースチェック1 デザイン構想とプレゼンテーションチェック							
	第3回：	プレ課題の提出と講評+課題1の説明と設計手順の講義							
	第4回：	エスキースチェック1 計画地調査報告プレゼンテーション、敷地模型の提出							
	第5回：	エスキースチェック2 ボリュームの把握と配置、ゾーニングの検討							
	第6回：	課題1の提出+講評+課題2の説明と設計手順の講義							
	第7回：	エスキースチェック1 計画地調査報告プレゼンテーション							
	第8回：	エスキースチェック2 ボリュームの把握と配置、ゾーニングの検討							
	第9回：	エスキースチェック3 配置図、平面図、断面図、スタディ模型による検討							
	第10回：	プレゼンテーションチェック、図面レイアウトを検討							
	第11回：	課題2の提出と講評+課題3の説明							
	第12回：	エスキースチェック1 計画地調査報告プレゼンテーション							
	第13回：	エスキースチェック2 ボリュームの把握と配置、ゾーニングの検討							
	第14回：	エスキースチェック3 配置図、平面図、断面図、スタディ模型による検討							
	第15回：	課題3のプレゼンテーションと講評及び授業の総評							
受講条件・関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設計I、II、IIIを原則として履修していること。 ・建築史I、建築史II、建築計画I、II、インテリアI、II及び全科目 								
授業方法	課題数は2～3課題。具体的な敷地を設定し、毎回計画地をサーヴェイすることで周辺環境の関係を把握させる。毎回、設計要点を説明し新しい建築デザインの可能性を問う。課題受け取り後は毎回、プレゼンテーションをしてもらい作品講評を行う。課題内容、スケジュールは常勤が提案し、非常勤講師と意見、調整し実行する。設計指導分担は各教員が各学生を順番に巡回し、指導を行う。街中での公開発表会も行う。								
テキスト・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクト建築設計資料集成(丸善) ・授業中に紹介する。配布資料あり。 ・Vector worksを使用する 								
成績評価	・期末試験(%)・レポート(%)・その他(課題提出物)(100%)・小テスト(%)								
履修上の注意	設計課題は卒業研究(設計)のプレ課題と位置づけている。また、作品は就職活動時のポートフォリオになるので、単に単位取得の為だけでなく自身が得意できる密度のある作品を創ってほしい。日常生活のなかで常に問題意識を持つこと。アイデアコンペティションにも積極的に参加すること。								